



守ろう 地域の宝もの

12月5日(水)

鶴里小学校で「安全・安心ベスト」の贈呈会がありました。同校ではPTAが子どもたちの見守りについて話し合い、保護者や子ども110番の家の方など地域の方に、オリジナルデザインのベストを着てもらうことにしました。贈呈会で児童からベストを受け取った町内会の代表は、「鶴里の宝が安心できるように、町をあげて見守りをしよう」と呼び掛けました。



響かせよう 思いやりの気持ち

12月7日(金)

下石小学校で、人権擁護委員による人権教室がありました。委員は「あいさつ」「食育」「いじめ」について子どもたちに語り掛け、全校児童と人権イメージキャラクターソング「世界をしあわせに」を合唱しました。今年度、同校は東濃西部3市の小・中学校の中から人権推進校に指定され、子どもたちは花育で運動などを通して、命や思いやりの大切さを学ぶことができました。



つきたてのお餅 おいしいね

12月13日(木)

山神保育園で市長も参加して餅つき大会があり、2～4歳児の園児63人がつきたての餅を味わいました。年中行事を経験してもらおうと行っているもので、園児は杵が振られるたびに「べったんこ、それべったんこ」と元気に声を掛けていました。つきたての温かい餅には、あんこやきな粉・ゴマを付け、園児は何度もおかわりをして食べていました。



社会を明るくするためにできること

12月13日(木)

第62回社会を明るくする運動作文コンクールの表彰式と発表会が文化プラザで行われました。市内の小・中学校から応募のあった343編の作文を土岐地区更生保護女性会が審査し、入選した6人が、「一緒に悪いことをする人を仲間とは言わない」とか「人が更生するには人の関わりが必要」などと、発表を見学に来た家族の前で力強く作文を読み上げました。



よい年を迎えられますように

12月15日(土)

地元の方を講師に招いた「しめ縄づくり」と「盆栽教室」が土岐津公民館で行われました。しめ縄づくりでは、ひねりながら編んだワラを丸めてナンテンの実や梅の花、松の葉などで思い思いに飾り付け、盆栽教室では、講師の方の指導で梅や松を植栽し、石などを丁寧に配置して見事な庭を作り上げていました。どちらも和気あいあいとした雰囲気の中、新年を迎える準備をしました。



Voice

今年で2回目の参加です。去年よりレベルアップして、良い物ができたかな。玄関に飾って新年を迎えます。



一般の部・文芸祭受賞の皆さん

言葉と向き合う

12月9日(日)

第11回土岐市文芸祭表彰式が文化プラザで行われました。各部門に市内外から3,559点の応募があり、上位に入賞した23人が表彰を受けました。小畑運営委員長は「良いフレーズだけでは良い作品は生まれません。作品の題材を自分の元に引き寄せ、自分から歩み寄って、生きざまを重ねながら作品をつくって」と激励しました。

一般の部(敬称略)

賞名/部門	文芸祭賞	市長賞	教育長賞
現代詩	細江隆一(八百津町)	栗田守(各務原市)	可児小松(可児市)
短歌	大栗紀美子(岐阜市)	水野一(岐阜市)	東紀子(泉町)
俳句	柴田信子(美濃加茂市)	金子弘道(可児市)	田口千恵子(多治見市)
川柳	穂山常男(大阪府八尾市)	伊黒敬雄(大垣市)	佐藤伸子(名古屋市中区)
狂俳	加藤公一(瑞浪市)	都築恵子(各務原市)	後藤善一(関市)

小中学生の部(敬称略)

	現代詩	短歌	俳句
優秀賞	曾根実咲(土岐津小6年)	大塚守(肥田中2年)	加藤出海(土岐津小6年)
	浅野広樹(濃南中1年)	加藤出海(土岐津小6年)	福本莉菜(曾木小5年)
	稲垣晴菜(濃南中1年)	石丸紘也(肥田中2年)	鈴木和志(西陵中3年)